

中期計画戦略委員会 「役割と活動内容」

2016年1月27日

2015年度委員会活動報告会

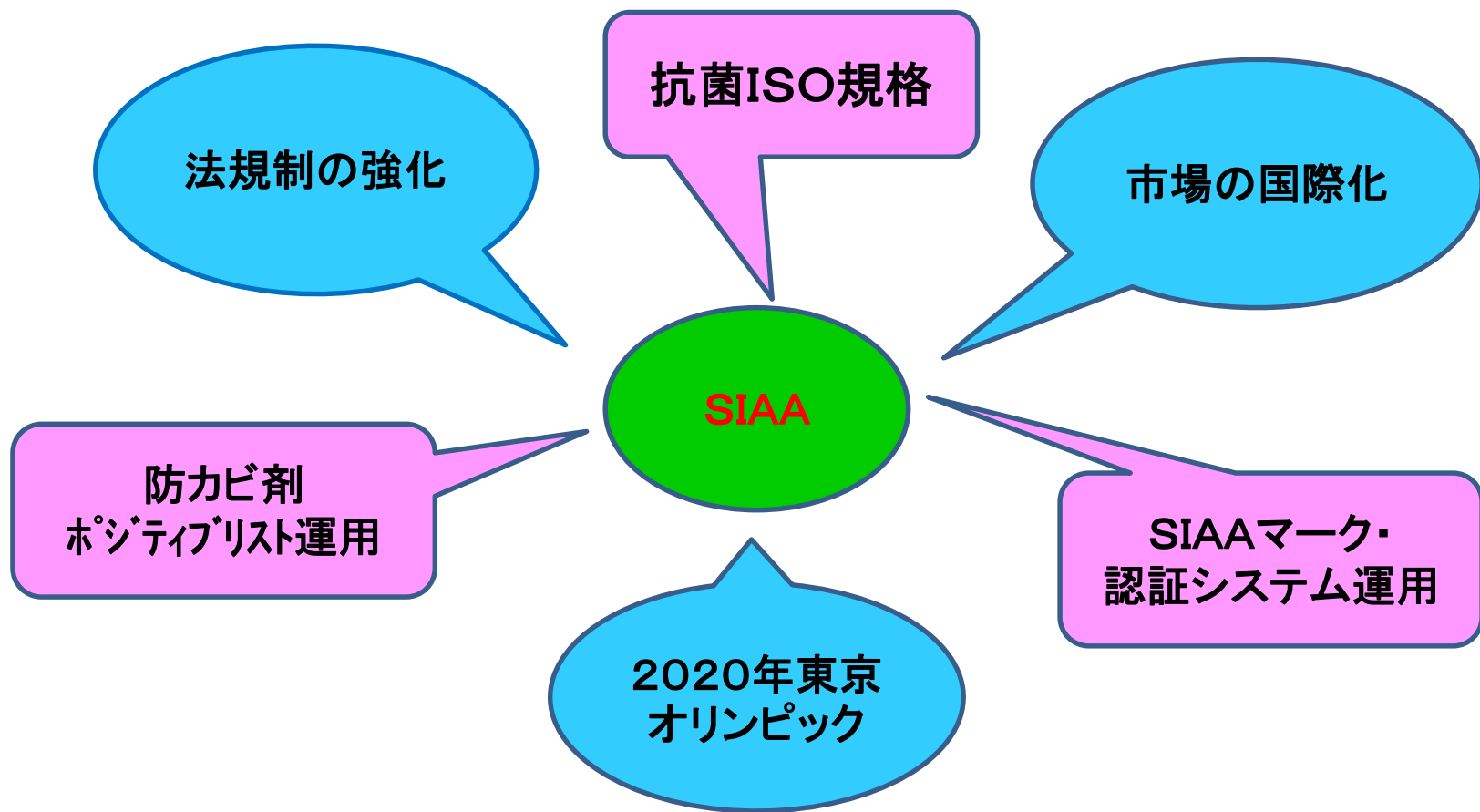
SIAA(抗菌製品技術協議会)概要

- 発足: 1998年 6月(任意団体 抗菌製品技術協議会設立)
2010年10月(一般社団法人設立)
- SIAAマーク 1998年12月 第1段運用開始
2001年 7月 第2段(抗菌JIS混合)運用開始
2007年11月 第3段(ISO22196準拠)運用開始
- ・ 会員数
<会員内訳:2015年5月現在>
 - 正会員 抗菌剤メーカー 30
抗菌製品メーカー110
 - 準会員 3
 - 賛助会員 抗菌試験評価機関6団体
 - 特別会員 学識経験者10名

SIAAの4つのコンセプト

- (1) 消費者の立場に立ち、生活の質的向上に寄与する
 - (2) 環境負荷が小さく、微生物と共生できる抗菌加工製品を提供する
 - (3) 安全性と品質について情報公開する
 - (4) 抗菌加工製品の正しい使い方の普及に努める
- ⇒ 国際規格である抗菌ISO規格に引き継がれている

外部環境の変化



更なる発展を目指すSIAAへの変化が必要

1. 本委員会の役割

<経緯>

- ・将来計画委員会を改組して、
2014年10月、中期計画戦略委員会が発足

<役割>

- ・2016中期計画の見直し、及び推進状況の把握と調整、
- ・幹事会への提言

<発足時の具体的な役割>

- ①テーマの優先順位付け
- ②委員会組織の見直し
- ③発信力強化(HPのレベルアップ)
- ④SIAAマーク普及・認知度アップ

2. 2016中期計画の確認・見直し

将来計画委員会による重要課題

- A-1

ITツールを活用した国内外への情報発信力の強化

- B-1

会員ニーズの把握手段の確立と、ニーズを抗技協活動につなげるシステムの構築

⇒ **二つの重要課題(項目)は実施すべき項目、
具体的施策について一部見直す。**

3. 2014年度の提言(1)

①テーマの優先順位付け

- 2015年度の各委員会の活動内容は、今までの活動内容に拘らず、2つの重点目標に関連する項目に絞る。

A) SIAAマークの普及

B) 会員ニーズへの対応

3. 2014年度の提言(2)

②委員会組織の見直し

- ・委員数の偏り、テーマの固定化を見直す。
- ・委員会の統廃合による効率化
 - ☆グローバル展開委員会と国際組織準備委員会の統合
 - ☆ SIAA普及・広報委員会と市場調査委員会の統合
 - ☆技術委員会と国際標準化推進委員会の統合
 - ☆新JIS規格対応特別委員会の解散
- ・委員会の新設によるSIAA活動の拡充
 - ☆海外法規制、材の安全性情報を発信する委員会の設立
 - ☆将来テーマを検討する部会の設立
 - ☆情報発信力強化プロジェクトチームの発足

<新委員会組織>

	委員会名	活動内容
1	中期計画戦略委員会	中期計画進捗見届け、幹事会への答申 将来テーマ検討
2	国際展開委員会	抗菌市場の国際的拡大 グローバル抗菌組織の設立準備
3	SIAAマーク表示推進 委員会	国内(外)へのSIAAマークの普及・広報 抗菌製品とSIAAマーク普及度の市場調査
4	制度運営委員会	抗菌・防カビ管理責任者、試験管理士講習会運営、 本会基準類管理
5	抗菌技術委員会	抗菌試験評価技術の維持・開発 防カビ評価技術開発 国際標準化推進(OECDガイドライン)
6	安全性委員会	海外法規制対応、安全性基準見直し
7	防カビ委員会	防カビマークの設定・普及
8	抗ウイルス試験法 委員会	抗ウイルス試験方法の開発と標準化 抗ウイルス製品の認証制度検討
9	情報発信力強化プロ ジェクト(HP見直しWT)	HP見直しによる情報発信力向上

新組織における各委員会の役割(1)

1) 中期計画戦略委員会

- ・2016年中期計画の進捗状況を把握し、問題があればその対応策について幹事会に提言する。
- ・本会の成長のため、将来目指すべき方向を定め今後加えるべく新規テーマを検討し提言する。

2) 国際展開委員会

- ・アジア地区を中心に海外抗菌市場の育成、拡大を図るとともに、海外市場でSIAAマークが普及するための活動を推進する。
- ・グローバル抗菌組織設立のための日本準備チームとしてグローバル組織の体制、管理方法等を検討する。

3) SIAAマーク表示推進委員会

- ・SIAAマークの普及と認知度向上のための広報活動を推進する。国内で可能な外国人向け普及活動も取り込む。
- ・国内外の抗菌製品の市場状況を調査することにより、市場の動向を把握するとともに会員製品の監視を行う。

新組織における各委員会の役割(2)

4) 制度運営委員会

- ・本会諸規定の見直しと管理を行うとともに、海外会員への諸規定理論向上に努める。
- ・抗菌・防カビ製品管理責任者と抗菌・防カビ試験管理士が責務を全うするため講習会、フォローアップ研修会を開催、運営する。

5) 抗菌技術委員会

- ・会員の抗菌性評価技術の向上を図るとともに新たな抗菌試験法の開発を行う。
- ・抗菌試験法に関連したJIS, ISO規格内容の見直しと、OECD抗菌試験ガイダンスの新規制定を進める。

6) 安全性委員会

- ・抗菌剤、抗菌加工製品に係る内外の規制に関する情報を的確に把握し、その対応について検討する。
- ・化学物質の安全性評価に関する最新技術を調査し、本会安全性基準への見直しに生かす。

新組織における各委員会の役割(3)

7) 防カビ委員会

- ・防カビ剤ポジティブリスト、防カビ加工製品登録制度を運用し、防カビSIAAマーク表示製品の普及に努める。
- ・防かび効果を評価する試験方法を開発すると共に会員の防カビ試験技術の向上に努める。

8) 抗ウイルス試験法委員会

- ・非多孔質製品の抗ウイルス試験法を開発するとともに、その国際標準化を目指す。
- ・本会に抗ウイルス製品認証制度を導入するための方策を検討する。

9) 情報発信力強化プロジェクト

- ・ITを駆使して、会員のニーズに応える最新情報を的確に発信するため、必要な情報内容と発信システムを検討する。
- ・第1段階として、現行ホームページを見直し、会員が期待するコンテンツ(内容)が迅速に入手できるものに改定する。

3. 2014年度の提言(3)

③発信力強化(HPのレベルアップ)

- ・情報発信力強化プロジェクトとして、ワーキングチームによるHPのレベルアップを図る。
- ・EPA、BPR、REACH等国内外法規制に関する情報提供の仕組みを織り込む。

④会員ニーズの把握と対応

- ・抗菌、防カビ、抗ウイルスに続く新しいテーマを探索する。
将来テーマ検討部会を中期計画戦略委員会内に設立する。

3. 2014年度の提言(4)

⑤グローバル抗菌組織

- ・SIAAマーク普及に対してグローバル抗菌組織の設立は有益と考えるが、グローバル抗菌組織の具体像について、総会等で広く会員へ説明し理解を得る。

⑥関係業界団体との連携

- ・JAFET、光触媒協等関連する業界団体と連携し、最新情報の共有を図る。

4. 2015年度の提言(1)

①SIAAマーク信頼性向上

- ・SIAAマークの信頼性向上には定期的な性能チェックの導入が必要。

②財源確保

- ・環境変化(防カビ、抗ウイルス、バイオフィルム等への拡がり、日中韓の国際抗菌組織の設立等)に対応するSIAAマークのあり方(マーク推進料の導入)について検討する。
- ・講習会等のオープン化、コントロールサンプルの販売について検討する。

4. 2015年度の提言(2)

③HPの活用

- ・第1次WTは終了し、公募により第2次WTを発足させ、「情報発信力」向上を推進する。

④バイオフィルム分科会

- ・評価技術委員会に、「バイオフィルム分科会」を設置する。
SIAA会員(家電、住宅メーカー等)から委員を募り、年内キックオフを目指す。

5. 2016中期計画の推進状況の把握

各委員会活動計画への反映確認と進捗状況の把握

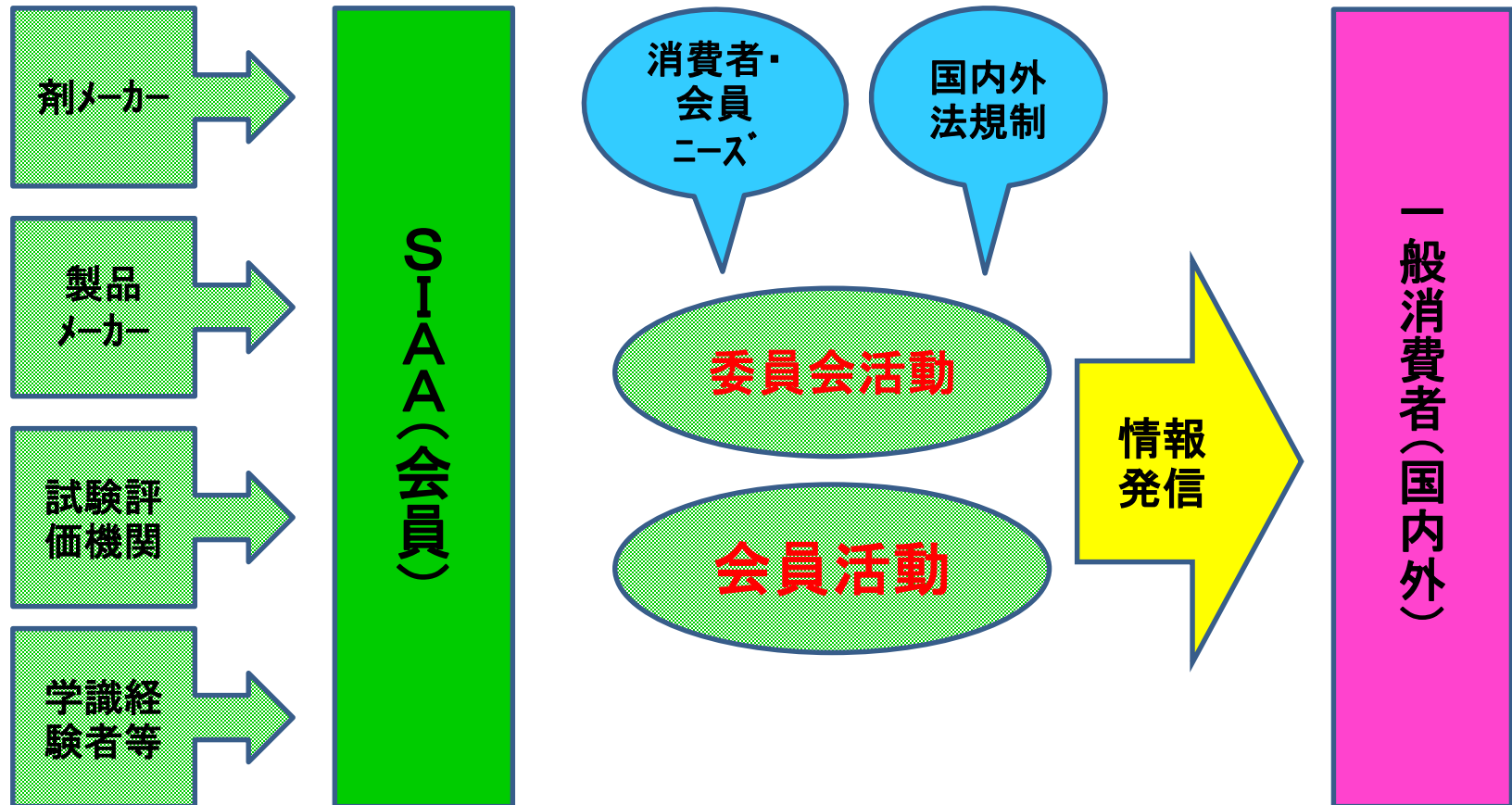
2015年度の活動は2つの重点目標に関連する項目に絞ることを提言。

A) SIAAマークの普及

B) 会員ニーズへの対応

⇒ 各委員会の活動内容・進捗状況を把握し、次の目標へ反映させる。

6. SIAAの拡大・発展



**SIAA拡大・発展に向け、会員・消費者の視点に立ち
中期的な提言を行う**